

## 真空排水ポンプを用いた 地すべり応急対策の取り組み

### ～徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区における地すべり対策について～

地すべりの緊急対策としては、日本で初となる真空排水ポンプを用いた「スーパーウェルポイント（SWP）工法」による地下水の強制排除工を実施いたします。

本格運用に先駆けて、施工状況を広く知っていただくため、以下の日程において、報道機関の方を対象に、試験的運用の状況を現地にて公開いたします。

取材希望がありましたら現地までご案内しますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

試験運用日：11月18日（木）午前※予定

四国山地砂防事務所では、平成30年7月の西日本豪雨及び令和元年8月台風第10号による豪雨で地すべりの滑動が活発化した、徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区において、地すべり対策事業を実施しています。

この箇所では、周辺のコンクリート擁壁が割れて傾いたり、道路が波打ったりしている様子が確認されています。さらに地すべり滑動が活発化すると、下流に流れる河川に土砂が流下し被害を及ぼすおそれがあることから、これまでに、徳島県と連携しながら、ディープウェル工法、横ボーリング工法、集水井工などの地すべりの要因となる地下水の排水工法を実施してきました。

今後、SWP工法の運用が本格化することで、更なる地すべり滑動の抑制及び今年12月から予定している排水トンネル工事の安全対策としても期待できます。

SWP工法については別紙をご覧ください。

問い合わせ先（◎：主な問合せ先）

国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400

副所長(技術)

吉岡 修一（内線 204）

調査課長

高原 晃宙（内線 351）◎

建設監督官

笠井 庸宏（内線 6541）祖谷地区

# 四国初、真空ポンプを組み合わせた地下水排水の取り組み

- ・スーパーウェルポイント工法（SWP 工法）は、真空ポンプと揚水ポンプを組み合わせ、地すべりの要因の一つである地下水を排除する工法です。
- ・地上に設置した真空ポンプを用いて、井戸の内部を真空にすることで、より多くの地下水が集水でき、強制的な排水が可能となります。

※地すべりとは、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象をいいます。がけ崩れと比較すると崩壊土砂量が大きいと、甚大な被害を及ぼします。



国土地理院 地理院地図を加工して作成

